

生徒と保護者と先生の共育ニュースレター

# Growing

February 2016  
Vol. 42  
毎月10日発行

【今福教室】  
城東区今福西 2-9-20  
TEL.06-6934-4662

【諸口教室】  
鶴見区諸口 4-14-9-1F  
TEL.06-6912-3984

【今津教室】  
鶴見区今津南 1-6-2-1F  
TEL.06-6167-9722

【今福第2教室】  
城東区今福西 2-16-8  
TEL.06-6931-2000

【関目教室】  
城東区関目 4-6-17-2F・3F  
TEL.06-6934-8117

【古市教室】  
城東区古市 3-21-8  
TEL.06-6931-0467



## 公立入試まで1カ月 合否の鍵は、最後まで目的意識を持ちやり切れるかどうか

高木 秀章 (塾長)



今、この GROWING を書いているのは1月下旬。受験生たちは、授業終了後も誰も帰ろうとしません。もう長くそのような状態で、それがいつから始まったのかはわかりませんが、授業終了後、私が教室の前の席に座ると、その前に質問の生徒が座り、次の質問を予約する生徒が私が座っている横の机に質問箇所のテキストをどんどん重ねていきます。質問を待つ間は、黙々と自習をする生徒、別の先生の質問を受ける生徒、質問カードを書く生徒など様々です。私はこの時間がとても好きです。

生徒達の思考を辿りながら共に考える充実した時間。クラス全体にこのような主体性が芽生えた時、生徒達の成績は確実に伸びてきます。

今年の受験生達も中1入会時から現在まで、偏差値を平均で6以上伸ばしてきました。多くの生徒達がクラブ活動をしながら、定期テスト前には毎日3時間自習に来て、中学3年生の夏期講習や冬期講習は、宿題が多く辛かったとアンケートに書いている生徒もいました。先生達も厳しいことを何度も言い、時には黒板を叩き、机を蹴飛ばしたこともありました。

この GROWING は、私立入試がちょうど終わった頃に皆さんの手に渡ると思います。ほっとしている人も多いと思いますが、併願者の人は1カ月先の公立入試のスタートを切ってください。公立入試は競争率が高く、私立に比べはるかにシビアな受験です。皆さんは夏期講習を経験し1カ月の学習でどれほど実力が伸びるかを知っていると思います。

公立までの1カ月、「絶対に合格する」という強い目的意識を持ち、やれる全ての努力ができるかどうかで結果は大きく違います。私は、この時期に大逆転する多くの生徒達を見てきました。みんなの受験勉強もあと1カ月。受験は孤独な戦いではありません。心配なことは、家族や先生達を頼ればよい。何より、今まで共に頑張ってきたクラスの仲間がいる。必ず全員で志望校に合格しよう。

私は冒頭で、生徒達と居残りの時間が好きだと言いましたが、正確にはそうではありません。居残りをして、粘り強く質問してくるあなた達が好きなのです。不合格になるかもしれないという不安を覚悟して、努力するあなた達と関わることがうれしいのです。そして、それが私がこの仕事を夢中とする理由です。

受験を控えたあなた達には、自分の努力次第で無限の可能性が広がっています。あなた達は可能性の塊です。

どうか、今、感じている努力に対する手応えと充実感を忘れないでください。そして、心に刻んで欲しいことは、受験は「学び」のゴールではないということ。先生も、みなさんも、「学ぶ」努力を続け自分の可能性を広げ続けなければなりません。受験はそのことを教えてくれる、きっかけにすぎません。

あなた達にとって、受験は通過点にすぎません。

まだ気づかず、見えない、しかし必ずある、それぞれのゴールを目指して、受験という通過点を全力で駆け抜けてください。





## CLASSROOM REPORT 教室レポート

# 学習を通して努力する楽しさを知って欲しい。 関目教室のようす

小田 忠 (統括教室長)



今回は私、小田が関目教室の様子をお伝えしようと思います。

12月に実施された珠算競技大会。内海先生を中心に大会前の練習を行いました。結果、小5生が総合の部で勝利を収め、何とか今福教室に一矢を報いることができました。そして、特筆すべきは小1生、小2生の読み上げ暗算の部。小1生の2名が3位以内に入賞。これからの可能性を大きく感じさせる大会になりました。ただ、総合的には今福教室に大きく水を空けられる結果になり、正直ふがない結果でした。通塾してくれている子供達の能力を十分に引き出せていない。内海先生が競技大会の選手について「競技大会前の1か月の練習ですごく伸びたんです」と教えてくれました。1か月で子供達は大きく変化し、成長します。そんな子供達の力を最大限伸ばしてあげることができるように、指導していきたく思います。来年の競技大会の目標は、総合の部で2学年の勝利。そして、総合の部、読み上げ算、読み上げ暗算の部で各10名以上の入賞者を出したいと思います。

また、現在、関目教室の珠算部には72歳の男性が通われています。通塾動機は「常時勉強」年齢を重ねられても衰えることを知らない向学心には感服するばかりです。そして、私が指導に入った時にこの方がおっしゃられたとても印象的な言葉があります。それは「答えを出す過程を学ぶのがとても楽

しいです。」という言葉。答えを出すことは電卓などを使えば、すぐにできます。しかし、電卓は数字を打ち込むだけで答えが出るので、頭は使いません。答えを出すまでにどうすれば答えが出るのか、要するに、しっかり過程を考えることで頭を使い、能力を鍛えることになります。そろばんが持つ可能性を改めて感じさせてもらった言葉でした。これからもそろばんを通じて、能力、いや「脳力」を引き上げることができるよう指導していきたく思います。

続いて、学習部の様子です。冬期講習が12月下旬から1月初旬にかけて行われました。中3生は私立の受験校が決定し、本格的に受験モード。目の色が変わってきました。冬期講習では過去問の演習を行い、推測ではあるものの合否判定を実施しました。生徒の中には合否判定を受けて、点数が思うように出ないので落ち込んだりする生徒も。しかし、自分の状況を知ること、受験までの計画を立てることができるというもの。中3生は受験生として、しっかりと取り組んでいました。この記事を読む頃は私立入試が終わっていると思います。努力が報われることを願ってやみません。

中1・2生はこの冬期講習。今までと大きな違いが。それは一人一人が必死に苦手分野を無くそうとしていたこと。今まではただ「やっている」だけ。しかし、今回は「やり切るう」として講習会に臨んでいました。勉強が苦手

な子が講習終了後に「ほんまに疲れた〜」と言って、授業終了後にグターっとなっていたのが印象的でした。勉強はしんどいし、苦手なものを克服するには時間がかかります。その途中で逃げたくなります。しかし、逃げずに立ち向かうことでしか、苦手分野を克服することはできません。そして、苦手分野を克服したときにはじめて、勉強の楽しさ、努力することの楽しさがわかると思います。これからもこの調子で頑張っていきたいと思

います。小学生は寒い冬でもおかまいなし。元氣一杯で朝から通塾してくれていました。小学生はテキストで行う授業も去ることながら、ゲーム感覚で苦手単元を学習できる弱点対策の授業が大好き。周りの子達と競争をしながら、一心不乱に問題に取り組んでいました。ただ、早くやることに集中しすぎて、丸付けややり直しが適当になってしまう場面もあったので、早く丁寧にやることができれば、もっと成績が伸びると思うので、3学期以降はそういう箇所にも目を光らせながら、指導に当たりたいと思います。

今年1年も丁寧に子供達を見ていき、カイチに通わせて良かったと思ってもらえる教室作りを心がけていきますので、どうぞよろしくお願い致します。



# Education



KAICHI'S ACTIVITY カイチの教育

## 競技大会 みんな頑張りました!

川西 久志 (古市教室)

昨年末に第11回目となる珠算競技大会がありました。珠算競技大会は年に1度、全教室で選抜された選手を集めて、読み上げ算、読み上げ暗算、総合競技(プリント競技)を競う大会です。大会の1カ月前から先生と選手が練習に励み、練習の成果を競います。

今回の競技会は、生徒達の更なるレベルアップを目指して次の2点、①読み上げ算・読み上げ暗算CDの作成と配布 ②総合競技でのかけ暗算・わり暗算の導入を行い取り組みました。

変更点の1つ目「読み上げ算・読み上げ暗算CD」は、練習が教室でしかできない読み上げ算・読み上げ暗算を自宅で練習できるように考え作成しました。その結果、読み上げ算、読み上げ暗算のレベルは更に上がりました。読み上げ算の決勝戦で前回は6~15桁5口で優勝だったのが、今回は9~18桁(1億円~10京円!)で今福の雑賀悠弥選手(5年)が優勝、読み上げ暗算に関して、前回は3~6桁(100円から10万円!)5口だったのが、今回は3~6桁7口で古市の高木晴史選手(5年)が優勝し、各学年のチャンピオンが出場する開智No.1決定戦では、予定していた問題レベルも引き上げて行うことになりました。

また、変更点の2つ目、「総合競技でのかけ暗算、わり暗算の導入」は、前回の大会で上位者の生徒達が、満点近くまで得点を伸ばしたことに対応するために行いました。この変更により、そろばん、暗算の両方に長けなければ優勝は難しくなりました。

そんな中、今福教室の高原悠玖選手(6年)が1400点満点中1075点で優勝しました。2位の古市教室の高木晴史選手は1055点と20点差、これも見ごたえのある勝負でした。教室別の団体戦では、6学年中5学年で今福教室が勝利し、本部の強さを見つけた形になりました。ただ、他教室でも、新たに入賞する生徒の姿が多く見られ、今後に繋がる結果になったのではないかと思います。

今回、入賞できなかった人は残念だったかもしれませんが、普段の練習に戻ると、ぐっと実力が付いたと感じるはず。皆さんが頑張った3週間は確実に自分を成長させています。また、出場できなかった人は次回こそは出場するつもりで、頑張ってくださいと思います。毎年競技大会に出場する人もいますが、選手のメンバーは毎年大きく変わります。1年間、どのように取り組んだかで、伸び方は大きく変わります。

そのような意味でも生徒の皆さんは、努力次第でどのようにでもなれるし、皆さんの可能性を伸ばすことを仕事にしている先生達の責任は重く感じています。

ハーバード・ビジネス・レビューの有名な記事『モチベーションとは何か』のなかで、心理学者のフレデリック・ハースパークは人の意欲を高める主要因が、「達成」と「達成が認められること」と結論づけています。つまり、

### 小さな成功が次の成功を生み、やがてそれらは飛躍的な成功につながる

ということです。昔から、「小さなことからコツコツと」と言われますが、そのことが研究により実証されています。検定を受験し、合格することにより少しずつ上達するそろばんの進級の仕組みも、小さな成功を積み重ねるようになってきているのですが、私達も、毎回の指導の中で子供達にその日の目標を与えて、それを達成させていくような指導を心がけたいと思います。生徒の皆さんがそろばんを通して、努力して物事を達成する喜びや、自信を身に付けられたらと思います。





## Topic

## COLUMN: 先生紹介 ▶ 辻本 真奈美 (今福教室)



新聞には政治、経済、スポーツ、科学、暮らしなどあらゆるジャンルの情報が1つにまとめられています。いわば情報のマルチビタミンの

ような存在。特に高校入試では、時事問題をいくつか読み、それらを組み合わせて自分なりの意見を述べる新傾向の問題が出題され、それに対応するには普段から新聞などで世の中の事を知っておく必要があります。また、

岡本先生の記事にもあるように、新聞に目を通すことで視野や興味の対象も広がります。

しかし、子供達に新聞を読ませることは至難の業です。もちろん、対象となる学年もあります。中学生ならばまだ内容を理解できるかもしれませんが、小学生には、難しく、朝日・毎日・読売から出ている子供新聞などからスタートするとよいかもしれません。それでも、「読む」となると大変です。

新聞を読む上で大切な事は、社会全体で何が起きているかを知ることです。ですから、すべてを読むのではなく、見出しだけを読む。新聞の見出しはとても上手に作られていて、それだけである程度内容がわかるようになっ

ています。また、重要な問題については、継続的に取り上げられます。ですから、見出しを毎日読むだけでも、社会で起きていることは、おおよそわかります。そして、そうやって新聞に慣れる中で、興味が湧いたものだけを少しずつ読めばOKだと思います。

気合を入れて頑張るより、気楽に毎日続ける方がはるかに身に付くと思います。是非、ご家庭でも新聞のパラパラ読みにチャレンジしてください。



▲朝日・毎日・読売から出ている子供新聞



## 岡本の ちよっと イイ話

TEACHER'S VOICE 岡本 泰行 (今津教室)

### 興味のアンテナを立てて、どんどん調べてみよう!

寒さの厳しい日々が続きますが、みなさんいかがお過ごしでしょうか。今回は、私の大好きな旅行について書きたいと思います。

突然ですが、この写真はどこでしょうか?



広島県の厳島神社を思い浮かべた方もいると思いますが、正解は滋賀県の白鬚<sup>しらげ</sup>神社です。水の中に鳥居が立っているの、厳島神社を想像したかもしれません。

私は、テレビや、写真で綺麗な景色や、おもしろそうな所が紹介されているのを見ると、自分の愛読書?である、地図帳や、旅行雑誌を広げて、場所を確認し、電車の時刻表や、高速道路の地図などを見て、どれくらいの時間でそこに行けるのだろうかとかよく学生の頃や、小さい頃に考えていました。電車や車が好きないうわけではなかったのですが、家からの時間を計算し、電車の乗り継ぎや、車であればどこのICで乗ってどこのICで降りるのかを考え、いかに早い方法で、目的地にたどり着けるか、または、目的地にたどり着くまでに、どこかに立ち寄って名物を食べたり出来ないかななどのいろいろなプランを頭の中で考え、書き出すのがものすごく好きでした。そん

なことをしていたらいつのまにか1、2時間はすぐに過ぎてしまいます。

また、旅行に行き、その街での名物や、お土産屋さんをのぞくと、その土地では、何が有名であるのかが一目でわかります。そのおかげか、私は社会の地理に関しては、今でも自信を持って「得意」と答えることができます。

正直、学生時代は、数学・理科よりずっと社会が得意でした。(今は数学・理科を教えています…)

自分の興味や関心を起点に、関連性の中で様々な事を調べ、理解していくことで、好奇心が湧き、さらに知りたいものが出てきて、関心の輪は広がっていきます。私は学習とは、元来そのようなものだと思いますし、そうあるべきだと思います。教育の現場で盛んに唱えられている、活用力やアクティブラーニングは、教科学習では難しい、そのような学びを子供達に伝えることを意図したものだと思います。今は、スマートフォンやインターネットの環境が整い、以前に比べて調べることはずっと便利になりました。「面白そうことはないかな?」と自分の中にアンテナを立て、そのアンテナに引っかかったものは、どんどん調べてみましょう。自分の世界が少し広がるかもしれません。



### カイチからの お知らせ

■2月13日(土)は新年度の入塾説明会・テストを実施します。新小4～新中3生で当塾に入会をご希望の方は、お電話でご予約ください。2月中ご入会の方は、入会金無料と年間教材費5,000円割引をさせていただきます。

■トーキングキッズの無料体験を2月中、今福教室 毎週月曜日、関目教室 毎週火曜日、諸口教室 毎週水曜日、今津教室 毎週金曜日の(年中～年長)4時～4時50分、(小1～小3)5時～5時50分、(小4～小6)6時～6時50分で実施致します。ご興味がおありの方は各教室へお電話でご予約ください。

■2月29日(月)より新年度授業がスタートします。今年もよろしくお祈りします。

■3月10日(木)は公立高校受験日です。受験生のみんな、がんばれ!!